

尼崎市立中央図書館
としょかんNOW
図書館だより

中央図書館だより No. 378
令和4(2022)年12月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第34回

永尾 宗斤 (ながお そうきん) 俳人

本名は永尾利三郎。1888(明治 21)年大阪市生まれ。大阪の商業学校を卒業。記者の後、尼崎市立図書館員となり、市史『尼崎志』全三巻の編集に従事する。明治末から俳句を始め、青木月斗、石井露月らの指導を受け、「びくん」「囀り」などを発行する。青木月斗主宰の「カラタチ」、次いで「同人」を編集。1926(大正 15)年「早春」を創刊主宰した。1944(昭和 19)年 57 歳で没した。



作品介绍



「宗斤 永尾利三郎と尼崎」 羽間 美智子/著
神戸新聞総合出版センター 2021年発刊

宗斤と同じく尼崎市立図書館の司書であり郷土史研究にも携わる著者が注目したのは宗斤のもう一つの仕事である『尼崎志』の編集だった。史料の収集から古文書の翻刻、原稿の執筆までをたった一人で成し遂げた尼崎での仕事を丹念に追い、これまで知られていなかったその事跡を明らかにしている。

図書館・図書室 業務休止のお知らせ

以下の期間、市内すべての図書館・図書室を休業いたします。

◆ システム改修による休館・休室

12月19日(月)～1月4日(水)



中央・北図書館をはじめ全施設で図書業務を休止します。休館中は、返却ポストもご利用いただけません。また、図書館ホームページもご利用できません。

12月6日(火)から18日(日)まで、貸出冊数の上限が100冊までとなります。

また、その期間は貸出期間が4週間となります。

あまがさき電子図書館はご利用いただけます。

休館中はご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

2022年 尼崎の図書館でよく借りられた本 ベスト10

順位	タイトル	著者
1	希望の糸	東野 圭吾
2	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ
3	沈黙のパレード	東野 圭吾
4	さよならの儀式	宮部 みゆき
5	かがみの孤城	辻村 深月

順位	タイトル	著者
6	魔力の胎動	東野 圭吾
7	素敵な日本人	東野 圭吾
8	ぼくはイエローで ホワイトで、ちょっ とブルー	ブレイディ みかこ
9	流浪の月	凧良 ゆう
10	小説 8050	林 真理子

毎年恒例

「**問鍋**」始めました!



【期間】 12月18日(日)まで

【場所】 2階 エントランス

冒頭の3行と司書からの一言コメントを手がかりに、自分好みの本を探していただけます。
あなたは一体どんな本を借りるのか!?今年最後の運だめしをしてみませんか?

(本がなくなり次第、終了します)

レファレンス室から

～新刊紹介～

『消えゆくくらしのモノ事典』
(岩崎書店)2021年2月発行



黒電話、ポケットベル、ワープロ、フロッピーディスク、ペナント、駅の伝言板…。昭和の終わりから平成時代に活躍していたのに、最近あまり見かけなくなったモノたち。大きなカラー図版と詳しい解説で、懐かしいモノを通じて社会の変化がわかる図鑑です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

「QRコード」のしくみが
知りたい。



所蔵検索でヒットした『QRコードの奇跡』(東洋経済新報社)を確認したところ、トヨタ社の部品生産現場でのQRコード誕生秘話・歴史について書かれた資料でした。QRコードには「二次元バーコード」の別名があることがわかり、「バーコード」をキーワードに改めて所蔵検索をおこなうと、『よくわかるバーコード・二次元シンボル』(オーム社)『JISハンドブック2019-67』(日本規格協会)に、詳しい成り立ち・しくみなどの説明の記述が見つかりました。

予告

読みくじ

お楽しみに！

【期間】 2023年 1月 5日 (木) ～ 1月25日 (水)
【場所】 2階 エントランス

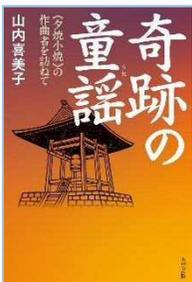


こんな本 入りました

～ 一般室の本棚から ～

『奇跡の童謡 <夕焼小焼>の作曲者を訪ねて』
山内 喜美子/著 (大空出版)

『オメガ城の惨劇』
SAIKAWA Sohei's Last Case』
森 博嗣/著 (講談社)



音楽の教科書にも載っている「夕焼小焼」は誰もが知っている童謡だ。だが、誰が作ったのかは、ほとんど誰も知らない。この曲を作った人物は多くの楽曲を残したが、没後生き残ったのは、なぜか童謡だけだった。著者は作曲者の生涯を訪ねる旅に出る。



孤島にあるオメガ城へと招待された6人の天才と1人の記者、その中にはサイカワ・ソウヘイも含まれていた。彼らが城へやってきた理由は、招待状に記された「マガタ・シキ」の名前だった。深夜、高い叫び声のような音が響き、城は惨劇の場と化し…。

12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館時間 **9:00～20:00**

※ 印は休館日です。

※ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。



朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 12月13日(火) 午後2時～3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 『べんり屋、寺岡の冬。』中山 聖子/作
ほか1編

※1月は休館日のため、お休みです。



◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

14:55～15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00～11:20 0～3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください

常設三二展示

「杉山平一と尼崎」

～没後10年 詩と映画と人生～

杉山平一の没後10年となる今年、尼崎市立歴史博物館に寄贈された昭和初期から戦後にかけての貴重なアルバムなどを中心に、図書館所蔵の尼崎精工にまつわる文献、当時の雑誌や新聞記事などを展示します。杉山平一が“第二の故郷”と呼んだ尼崎と作品とのかかわり、その人生を振り返ります。

期間：12月18日(日)まで 場所：2階 エントランス



担当者のつびやき

師走を迎え、なにかと気ぜわしい毎日ですね。図書館でも特別整理とシステムの入替えを控え、準備に追われています。年明けには気分も新たに皆様を笑顔でお迎えできるように、頑張りたいと思います！(M.Y)



2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				